

事業所における自己評価表（放課後等デイサービス）

公表：令和5年 5月31日

事業所名 ふるーれプラス

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
		○	○		
環境体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		設備基準を順守している。	
	② 職員の配置数は適切である	○		有資格者を配置基準を上回って配置。	常に指導員等を3名配置している。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		区のまちづくり条例に適合している	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		年間計画の策定など	年度末・初めの会議、会議録の供覧
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年保護者会で説明。R4年度はコロナのため配布で実施	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所HPに掲載し会報で周知。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		予算確保等今後の検討課題
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部のWEB講習を受講した	今後も受講を推進する。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		入所前面接しアセスメント作成。ケース会議にて周知。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		ツール使用の時間確保が困難。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		常勤・非常勤で話し合い立案している。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		集団ゲームの内容は適宜更新している	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別と集団を組み合わせ集中が続く様工夫。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		適宜、時間を作って打ち合わせしている。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援記録を確認し振り返りを行った	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回実施	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		コロナのため書面で説明確認した。	6か月で計画見直し保護者の同意を得ている。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			
関係機関や保	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童の姿を正確に伝える。	
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			

護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	② 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	③ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者の承諾を得て必要に応じて実施。	
	④ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		保護者と十分情報交換している。	
	⑤ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		保護者から提供された受診結果を活用	
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	児童館の活動内容を事業所で提供する。	
	⑦ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		○	区からの招請がないため	
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳、送迎時の伝達、個別相談	
	⑨ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	心理職による個別相談を提供する。	
	保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に実施
⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○		心理職による事業所内相談支援を実施。	
⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		会設置を望まない意見が多い。
⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○			相談枠や対応、療育内容報告を工夫する。
⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		毎月、広報誌を発行し配布	
⑮ 個人情報に十分注意している		○		規定、誓約書	職員には常時注意喚起
⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○		連絡帳、送迎時の説明	
非 常 時 等 の 対 応	⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		コロナにより中止。	感染状況を見極めて対応。
	⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		策定している。	
	⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		全児童が避難訓練に参加。	
	⑳ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		所内研修を年2回実施	
	㉑ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		虐待防止委員会を開催した。	保護者には契約書に記載し説明している
	㉒ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		指示書を要する児童がいない
	㉓ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例の蓄積で予防に努める	